

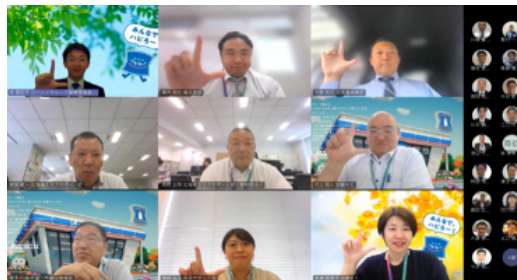
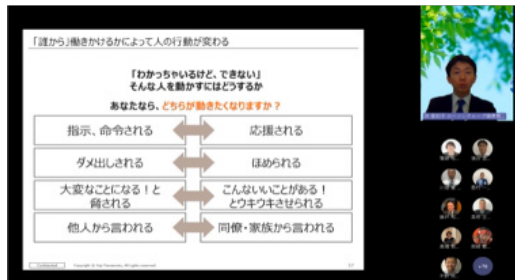
健康経営講話

健康経営の重要性を浸透させるために、4回にわたり各カンパニープレジデントをはじめ300人超の課長職以上の管理職向けに、健康経営アドバイザーによる健康経営講話を全国（オンライン）で開催しました。管理職が健康経営について学び、配下の従業員に周知することで、積極的な職場環境改善へとつながるよう働きかけていきます。

■主な講話内容

- ・健康経営の意義
- ・健康経営投資
- ・健康保険組合の保険料
- ・従業員が不健康となることへの企業リスク、労働損失
- ・健康は自己管理する時代からコミュニティで守る時代へ
- ・健康経営の重要な考え方（先手、戦略、伴走）
- ・健康づくりに周囲を巻き込む、参加させるための仕掛け
- ・ナッジ、意思決定回路をデザインすること

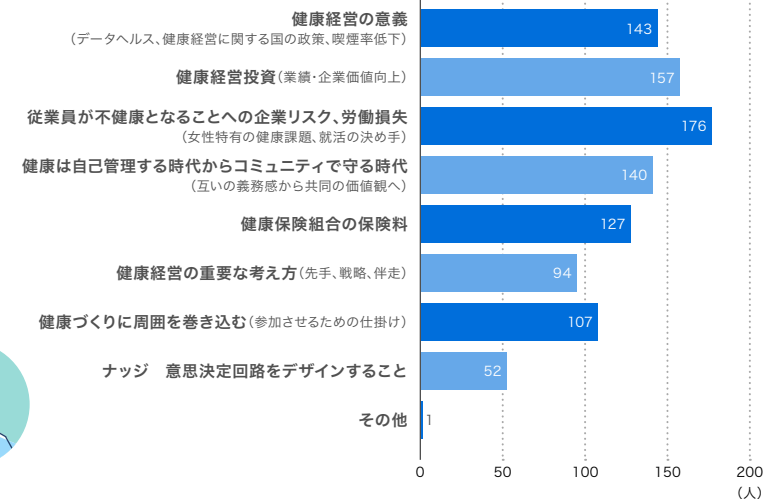
■開催の様子



■開催後のアンケート・感想

健康経営アドバイザーから講話後、参加者へアンケートを実施しました。（n=309）
99%以上の受講者が講話の内容について有意義であり、理解できたとの回答でした。

5.健康経営講話の中で、あなたが興味・関心を持てたものを教えてください。（複数選択可）



部下の健康面に配慮するということはやっているつもりですが、健康増進についても周りがサポート・賛同・応援してあげることが重要であることは目から鱗でした。



改めて健康と経営についての紐づけができて、部下メンバーに対しての働きかけの糸口が見えた気がします。



2024年度は、幹部・管理職の皆さんに向けて健康経営の意義や進め方について講演を重ねました。毎回、気づきや共感があふれ、現場での実践に向けた前向きな声が広がりました。各エリアでも健康経営という言葉や考え方が根付き、成果の兆しも見えています。

一人ひとりが心身の調子を整え、元気に仕事に取り組む姿は組織全体に必ず波及します。健康に本気で向き合うローソンのこの勢いを今後ももっと大きく育てていきましょう。



株式会社ローソン アドバイザー
株式会社ミナケア 取締役
医師

山本 雄士